

防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

平成19年度病害虫発生予察 防除情報第16号

いちご ハダニ類

いちごのハダニ類は近年多発傾向が続いています。今作における発生もやや多く推移しており、今後ハダニ類の増加が予想されます。下記の点に留意して防除指導をお願いします。

記

1. 発生状況

巡回調査において、ハダニ類の12月下旬以降の発生圃場率は平年に比べ高く推移している(図1)。また、2月上旬(27筆)の寄生株率は4.1%(平年5.1%)と平年並であったが、1月下旬の寄生株率2.2%に比べ増加した(図2)。

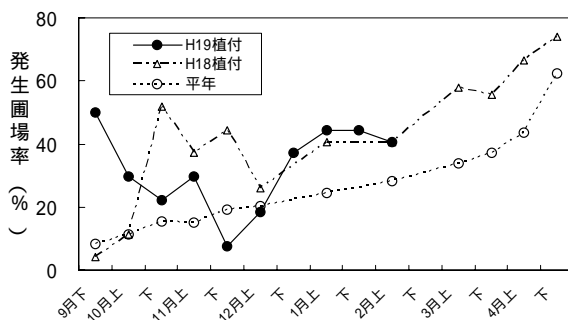


図1 いちごハダニ類 発生圃場率の推移
平年:H9~H18の平均値(最大・小値除く)

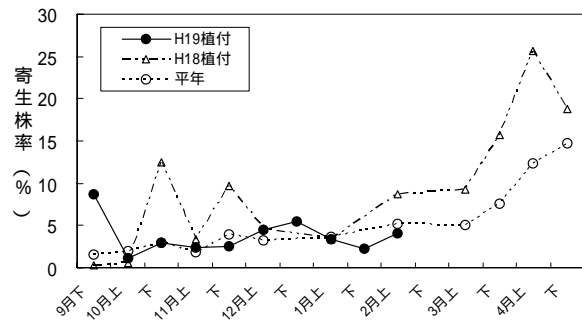


図2 いちごハダニ類 寄生株率の推移
平年:H9~H18の平均値(最大・小値除く)

2. 防除対策

- (1) 発生の増加に注意し、発生初期の防除を徹底する。
- (2) 葉裏に多く寄生するので、薬剤散布は下葉かき等古葉の整理を行った後、薬液が葉裏に十分かかるように丁寧に散布する。
- (3) 薬剤感受性が低下しやすいので、同一薬剤は連用しない。
- (4) バロックフロアブルは、いちごのナミハダニに対して感受性低下の事例が認められるので注意する。
- (5) 天敵(チリカブリダニ等)を使用している圃場は、発生状況に応じて天敵に影響のない殺ダニ剤を活用する。天敵の詳細な利用方法については県病害虫防除基準等の使用マニュアルを参考にする。